

《目的》

市民も自治も、とっつきにくい言葉ですね。親しみを感じられなくても、しかし、わたしたちは税金を負担しています。毎日の忙しさにまぎれて、つい距離を置いてしまいがちですが、関心がないわけではありません。安全・安心を第一に考えたいし、困ったときには助け舟がほしい。くらしやすい<まち>であってほしい。

ところで、<まち>は、だれがつくるのでしょうか？ 模範解答は、わたしたち市民ということになるでしょう。

確かに、自治体の議員や首長は、わたしたち市民によって選ばれます。議員や役所の仕事ぶりが的確に市民に知らされていたら、市政や選挙などに寄せる気持ちはもっと高まることでしょう。

わたしたち市民がまちづくりに参画するには、それらに関する情報を「知る・知らせる」から始まることになるのだらうと思います。

このウェブサイトは、市民が、自治に参画・協働するために必要な情報を、可能な限りお届けすることを目的とします。

《運用主体》

市民有志によるボランタリーグループです。

「くらしやすいまちをつくる市民自治サイト運営グループ」(仮称)

《サイトの構成とリンクについて》

市民によるくらしやすいまちづくりへの取り組みは、先行する多くの実践があります。これらの活動資源を有効活用して情報を共有するために、積極的なリンクをはってゆきます。また、ウェブサイトをもたない市民活動には、サイトスペースを提供してまいります。

これら既存グループとの連携、および、当サイトのオリジナル・コンテンツによって、サイトを構成しています。